

# 京田辺市市史編さんに関する連携協力

東 昇

## 1. はじめに

2014～2015年度まで京田辺市教育委員会と連携して、地域貢献型特別研究「京都歴史資料の調査・活用・公開－舞鶴幼稚園と京田辺市－」（研究代表者東昇）を進めた。また2016年度は、東昇、竹中友里代特任講師を中心に、歴史資料調査を継続し、市民向け成果講演会や市民ボランティアとの資料整理作業を実施し、今年度報告書を刊行した。

## 2. 京田辺市・京都府立大学の連携協力に関する覚書

このように長年にわたる京田辺市との協力を重ねた経緯から、今年度から京田辺市市史編さん事業がはじまった。同市は2017年4月に「市史編さん室」を設けており、今後10年かけて市史編纂する計画である。さらに2017年7月24日（月）京都府立大学は京田辺市と市史編さんの「連携協力に関する覚書」を交わした。市役所で行われた締結式では石井明三市長と築山崇学長が締結書に署名した。この覚書により、京田辺市と文学部歴史学科が協力し、学生・院生も参加し現地調査等を進めていく。今回の市史編さん6部会中5部会の部会長・編さん委員に多くの歴史学科教員が参加している。

## 3. 京田辺市史編さん記念講演会

市史編さん事業開始に関連して、市史編さん記念講演会が2017年10月1日（日）京田辺市立中央公民館で開催された。講演者・演題は、磯田道史（国際日本文化研究センター准教授）「歴史の楽しみ方」、東昇「京田辺市史の可能性」であった。この講演では、これまでの歴史資料調査、市民向け成果講演会や市民ボランティアとの資料整理作業などを紹介し、今後の市史編さんの可能性について説明した。なお当日は380名の参加者があり大盛況であった。

この他、各部会で今後の計画を検討し、地理・民俗部会は市内の祭礼調査、中・近世部会は隣接自治体の資料編調査、近世文書調査などを進めた。



写真1 連携協力に関する覚書締結式